

LSA平成27～28年度研究テーマ

2015/7/21

グループ	グループリーダー・サブリーダー	No	テーマ名称	概要	備考(提案者など)
A:最終処分システムの計画・設計	海老原・松本(良)	A-1	最終処分場に関する発展的研究	1.安心安全面・環境保全面で納得性が高いリスクコントロール型最終処分システムの研究 2.CS処分場被覆設備内跡地利用策の研究	松本良二
		A-2	漏水検知システム稼働状況の現状把握	最終処分場漏水検知システムの稼働状況を調査し、共通の課題や問題点、計画・設計・維持管理にフィードバックすべき事項がないか等分析する。	海老原正明
B:維持管理・廃止・跡地利用	薦田・石井	B-1	最終処分場の維持管理及び設計フィードバックに関する研究	1.CS処分場維持管理マニュアルの更新(散水事例集付)、散水による安定化解析方法(石井) 2.重金属の封じ込めを中心とした、飛灰固化物管理方法(松本) 3.遮水工補助材(GCL等)の高濃度浸出水に対する耐久性や遮水機能を調査し、改善案等を検討する(浦部)	石井・松本真・浦部朋子
		B-2	最終処分場の廃止及び跡地利用に関する研究	1.跡地利用の現状と動向を把握し、課題等を抽出する(薦田) 2.廃止及び跡地利用事例集の作成(石井) 3.廃止事例の調査と廃止技術の研究を行い、廃止事業計画マニュアルの作成や自治体等へのPR資料を作成する(小谷)	薦田・石井・小谷
C:浸出水管理	中村・堀井	C-1	最終処分場&中間貯蔵施設からの放射性セシウム処理対策の研究	・水中のセシウム除去技術の整理 ・最終処分場からの浸出水中のセシウム除去性能の確認 ・中間貯蔵施設等でのセシウム管理方法(浸出水等のみならず、遮水工など全体システムとして捉える)	堀井安雄
		C-2	浸出水処理施設トラブル事例調査研究	実際に発生している具体的な浸出水処理施設のトラブルを調査・整理し、対策案をまとめる。また、浸出水処理施設・技術に対する要望も調査・整理し今後の処理施設改良の参考データとする。	中村寿実
T:タスクフォース	石井	T-1	アジア太平洋地域における廃棄物処理の動向調査委員会	対象国の廃棄物処理ニーズを的確に把握し、それを解決するための技術提案(特に、費用対効果の高いもの、シンプルな技術でできるもの)を、これまでLSAが保有してきた技術の中から提案する。	則松 勇
		T-2	巨大災害対応検討委員会	巨大災害が今後も予想され、処分場の絶対量が不足する等の課題がある。このような事を踏まえ、LSAとして巨大災害に対応する最終処分のあり方について提言する。	宇佐見貞彦
		T-3	将来の最終処分システムのあり方委員会	国立環境研究所山田様との勉強会形式のディスカッションを数回行い、将来のあるべき姿を提案するとともに、研究課題を明確にする。	石井一英

※ 研究概要については、全てを実施するものではありません。研究展開委員会及び各分科会の開催を通じて、議論しながら絞っていくことにしています。
 ※ メンバー募集後、人数の集まり具合によっては、分科会の統合や廃止(見送り)もあり得ます。